



## Term 4 の活動【英語編】

今回は、ポポンデッタ小学校に赴任してから担当した授業や学年について書いていこうと思います。まずは概要から…

**英語担当学年**：7年生2クラス（7Cと7D）

**教室**：7C→旧教室 7D→新教室（ホワイトボード完備）

**児童生徒数**：50名以上（生徒はノートと筆記用具のみ持っている）

**教材**：なし。Teacher's Guideはあるが、不十分。

**授業時間**：8:00~15:00の中の40分ずつ。中休みがあるが、時間バラバラ。ランチ→12:00~

**授業内容**：Grammar Usage（文法用法） / Oral Expression（スピーキング） / Reading Comprehension（リーディング） / Writing Expression（ライティング） / Listening&Talking（リスニング&トーキング） ☆毎日英語の授業はあります！

日本で中学校の英語の教師だったということもあり、赴任してからすぐに7年生（日本でいう中学1年生）の英語の授業をもつことになりました。授業を通して、日本との違いが大きく分けて3つ（年齢・英語力・教材の有無）あったので、共有します。

### ① 在籍する年齢

7年生といっても、PNGの学校では年齢での学年の区別がうまくいっておらず、13歳~18歳までの子どもが在籍するクラスでした。PNGの学校は留年があるので、ベンチマークテストという試験で点数が取れないと、その学年をやり直すことになっています。写真を見てわかるように、日本の生徒と比べるとだいぶ大人びていると思います。クラスの半数以上が15~18歳くらいになります。



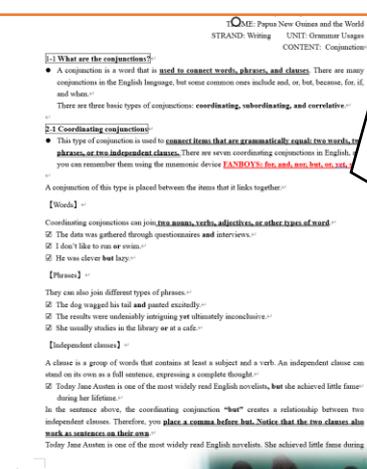
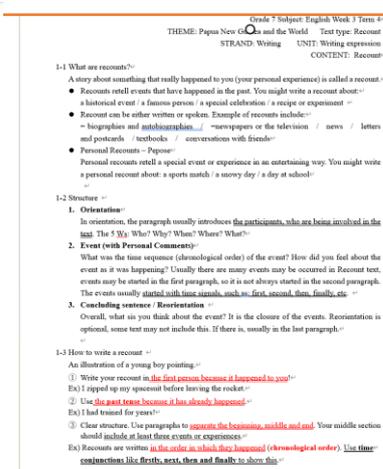
### ② 英語力

PNGに住む人は、普段は現地の言葉やピジン語を使用します。特に、ポポンデッタのような田舎町では、住民同士の会話はほとんどピジン語や現地語になります。しかし、学校や公共施設内になると、英語を使用することになっており、学校のルールとして教員も児童生徒も英語を話すことになっています。（実際は、職員間でも生徒間でもピジン語は多く使用されていますが…）したがって、ほとんどの子どもは小学生の段階から、英語を流暢に話すことができます。しかし、“聞いて”学んだ英語がほとんどなので、話したり聞いたりするのは得意ですが、文法やライティング、文章を読むことがとても苦手です。さらに、“Broken English”とも言われるピジン語。英語を話しているつもりでも、ピジン語が混在して何を言っているかわからないことが多々あります。日本の皆さんは、英語で話すことや聞くことの方が苦手でしょう。皆さんと逆ですね。したがって、英語の授業は文法やライティングを中心に教えています。

### ③ 教材の有無

日本では、教科書やノートが当たり前のようになって、タブレットを使用する学校が増えてきましたね。そして、教員はフラッシュカードやプロジェクター&スクリーン、タブレットなど、授業では色々な道具を活用すると思います。ポポンデッタ小学校の英語の授業は、あるのは生徒が自分で用意したノートだけです。教科書はありません。板書を写したノートが彼らの教科書になります。ワークシートは下の写真のように作成していますが、7年生の分を印刷しようと思うと、170枚以上印刷することになります。ここでは、コピー用紙やインクは限られており、停電も毎日発生します。したがって、ワークシートも文法やリーディングなど、限られた授業のみで作成し、それ以外はチョーク&トークで授業を行っています。

7Cクラスは黒板とチョーク、7Dクラスはホワイトボードとマーカーを使用しています。古い教室は、黒板が古く、字が見えにくい状態です。新校舎は、きれいなホワイトボードです。椅子や机もありますが、一人一つとはいかず、複数名で大きな机や椅子を共有している形が主です。したがって、大事なテストのときは人数を分けて受験させたり、複数の教室を使用したりします。



【ワークシート】  
情報が盛りだくさん。本当に教える内容を取捨選択すべきだと感じています…。テストをやってみると、中々理解できていないのが現状です…。



冠詞を教えた時の板書。図を入れたりして、説明しています。文法やどうしても説明が多くなってしまいます。英語でどうわかりやすく伝えるか、試行錯誤しています。日本とは全く異なるやり方です。



Oral Expressionの授業で「Food Tradition」についてディスカッションさせた後の発表の写真。オーラルは得意だけれど、Why?やHow?と言われると詰まる。また、人前で話したがらない、シャイな生徒が多い印象。詳しく説明できる言語力、整理して話すプレゼン力、堂々と話す自信を身に付けさせたいです。



見えてきた課題は…ズバリ、「**文章読解力**」「**ライティング力**」そして「**英語の正確性(文法)**」。根本から言うと、**授業出席率は50~60%**。**モチベーション**が高まり、**英語力も鍛えられる授業をPNGの子たちに適応して作成できるよう、奮闘中**です！**今後は、日本の学校と交流授業を計画**中!!!

